



QNAP

QVR Pro Client

ユーザーガイド

目次

1. 概要	
QVR Pro Client について.....	2
主要機能と利点.....	2
使用の手引き.....	3
2. 概要と基本操作	
QVR Pro Client のインストールとログイン.....	4
QVR Pro Client のインストール.....	4
QVR Pro Client を開く.....	4
QVR Pro Client にログオン.....	4
QVR Pro Client のナビゲーション.....	6
メインツールバー.....	6
スタックパネルを一覧表示.....	10
フレキシブルグリッド.....	14
タイムナビゲーター.....	14
イベント通知.....	17
検索結果.....	20
設定.....	21
3. ビューの管理	
ビューの追加.....	23
ビューの変更.....	23
ビューの削除.....	24
ビューの連続モードを有効にする.....	24
4. カメラ管理	
カメラを追加.....	26
カメラの連続モードを有効にする.....	26
録画ステータス.....	26
接続ステータス.....	27
カメラタイプ.....	27
5. E-map 管理	
E-map を追加.....	28
E-map を変更.....	28
E-map の削除.....	29
6. 高度な機能	
録画のエクスポート.....	30
関心領域 (ROI) の設定.....	31
スナップショットの取得.....	31
魚眼レンズカメラのデワーピング.....	31
360 度カメラの使用.....	33
ビデオウォールの設定.....	33
7. ヘルプデスク	
ヘルプデスクチケットの提出.....	35

1. 概要

QVR Pro Client について

QVR Pro Client は、QVR Pro サーバーに接続されているカメラを監視することができ、ライブと再生を柔軟に切り替えて監視エリアを制御します。QVR Pro Client は、Windows®、Mac®、Ubuntu® デバイスや、NAS 上の QNAP HybridDesk Station にインストールできます。また、Apple Store や Google Play からモバイルバージョンをご使用の iOS や Android デバイスにインストールできます。

また、QVR Pro Client は QVR Pro サーバーの集中管理システムである QVR Center のフルサポートと、QVR Pro サーバー用に設計された高可用性フェイルオーバーアプリケーションである QVR Guard のフルサポートを提供します。



注

- 本ユーザーガイドの画面画像は、QVR Pro Client の Windows バージョンから取られていますが、そのコンセプトと手順は同アプリケーションの他のバージョンにも適用できます。
- データの完全性を確保するため、QVR Guard サーバーがテイクオーバーモード時には、カメラ、ビュー、または E-map を追加、変更、あるいは削除することはできません。また、録画の再生は、QVR Guard サーバーがスタンバイモード時にのみ可能です。

主要機能と利点

QVR Pro Client は次の機能とメリットを持っています。

機能	説明
ライブビューと再生	QVR Pro Client は、複数チャンネルのライブビューを監視し、ひとつのインターフェイスで録画を再生できます。ライブ、個別の再生、同期再生モードを切り替えることができます。タイムラインをクリックするか時間幅を選択することで、特定の時間帯の録画を見ることができます。
ダイナミックレイアウト	QVR Pro Client カスタマイズ性の高いディスプレイパネルを提供します。それぞれのチャンネルの表示レートを変更し、表示を配置し、あるいは組み込み表示モジュールを使用して監視ニーズに応えます。
関心領域	更新された関心領域 (ROI) 機能は、ライブおよび再生モードで同じカメラからの複数の領域画像をサポートします。概要画像の複数の領域を定義し、拡大することができ、それには選択の制限や追加ライセンスの必要性がありません。
E-map	QVR Pro Client はイベントが発生した時にカメラの位置をすばやく特定できます。
複数の通知手段	QVR Pro Client は、生じたイベントをチャンネルの枠を赤く点滅させたり、ブザーによる警告、E-map 上の動くアイコンなどさまざまなイベント通知手段を提供します。
魚眼レンズカメラと 360 度カメラのサポート	QVR Pro Client は、魚眼レンズカメラと 360 度カメラでライブストリームやビデオ録画を監視できます。アプリケーションには、魚眼レンズカメラを使った録画表示をしやすくするデワーピング機能があります。
ビデオウォール	QVR Pro Client は、監視範囲を向上するため、ご使用のデバイスに接続されている複数のモニターでのカメラ、E-map、およびビューの表示をサポートしています。

機能	説明
プラットフォームに依存しないサポート	QVR Pro Client は、Windows、Mac、Ubuntu オペレーティングシステム、さらには QTS HybridDesk Station にインストールできます。また、Apple Store や Google Play からモバイルバージョンをご使用の iOS や Android デバイスにインストールできます。

使用の手引き

1. QVR Pro Client をインストール
詳細は、[QVR Pro Client のインストール](#)をご覧ください。
2. QVR Pro Client にログインします。
詳細は、[QVR Pro Client にログイン](#)をご覧ください。
3. カメラを追加。
詳細は、[カメラを追加](#)をご覧ください。
4. E-map を追加します。
詳細は、[E-map を追加](#)をご覧ください。
5. ビューを追加します。
詳細は、[ビューの追加](#)をご覧ください。

2. 概要と基本操作

QVR Pro Client のインストールとログイン

QVR Pro Client のインストール

1. QVR Pro にログオンします。
2. デスクトップまたはメインメニューから **QVR Pro Client** をクリックします。
QVR Pro Client を取得ウィンドウが開きます。
3. 適切なオペレーティングシステムの下で「**ダウンロード**」をクリックします。
ブラウザによって異なりますが、インストーラーは自動的にダウンロードされるかまたは確認メッセージが表示されます。
4. コンピューターにダウンロードされたインストーラーを見つけ、アプリケーションを起動します。
5. インストールウィザードの指示に従います。
 - a. 言語を選んでから、「**OK**」をクリックします。
 - b. 「**次へ**」をクリックします。
 - c. 利用規約を確認してから、「**私はライセンス許諾契約を承諾し同意します。**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。
 - d. インストールしようとするコンポーネントを選択してから、「**次へ**」をクリックします。
 - e. インストール場所を指定してから、「**インストール**」をクリックします。
 - f. 「**終了**」をクリックします。

デバイスに QVR Pro Client が正常にインストールされます。

QVR Pro Client を開く

QVR Pro Client を開くには複数の方法があります。

- 次のやり方のいずれかを行います。
 - QVR Pro または QVR Guard で、デスクトップあるいはメインメニューの **QVR Pro Client** をクリックします。
 - QVR Center で、メインメニュー下部にある **QVR Pro Client** アイコンをクリックします。
 - コンピューターで、**QVR Pro Client** デスクトップショートカットをダブルクリックするかあるいはメニューからアプリケーションを見つけます。

QVR Pro Client にログオン



注

QVR Pro Client は、クライアントデバイスおよびサーバーの時刻とタイムゾーンを調べ、設定が同じであることを確認します。時間差が 10 分を越えている場合、QVR Pro Client は警告を表示します。

1. QVR Pro Client を開きます。
詳細は、[QVR Pro Client を開く](#)をご覧ください。

2. 次のオプションのいずれかをクリックします。

- **QVR Pro:**QVR Pro または QVR Guard サーバークライアントにログオンします。
- **QVR Center:**QVR Pro Center クライアントにログインします。

QVR Pro Client が選択されたログイン画面を表示します。

3. 以下の情報を入力します。


フィールド	説明
ホストサーバー	これは、QVR Pro、QVR Guard、または QVR Center サーバーの IP アドレスまたはドメイン名です。
ポート	デフォルト値は、 セキュリティ保護されたログイン が選択されているかどうかによって、443 または 8080 となります。
ユーザー名	これは QVR Pro サーバーまたは QVR Center のユーザー名です。
パスワード	これは QVR Pro サーバーまたは QVR Center のパスワードです。 <div style="border-left: 2px solid #0070C0; padding-left: 10px; margin-top: 10px;"> <p>注 QVR Center と QTS はおなじ認証システムを共有しません。異なるログイン資格情報を与える必要があります。</p> </div>

4. 任意: 次のオプションを 1 つまたは複数選択します。

- **パスワードを保存**
- **セキュリティ保護されたログイン (https)**
- **自動ログイン**

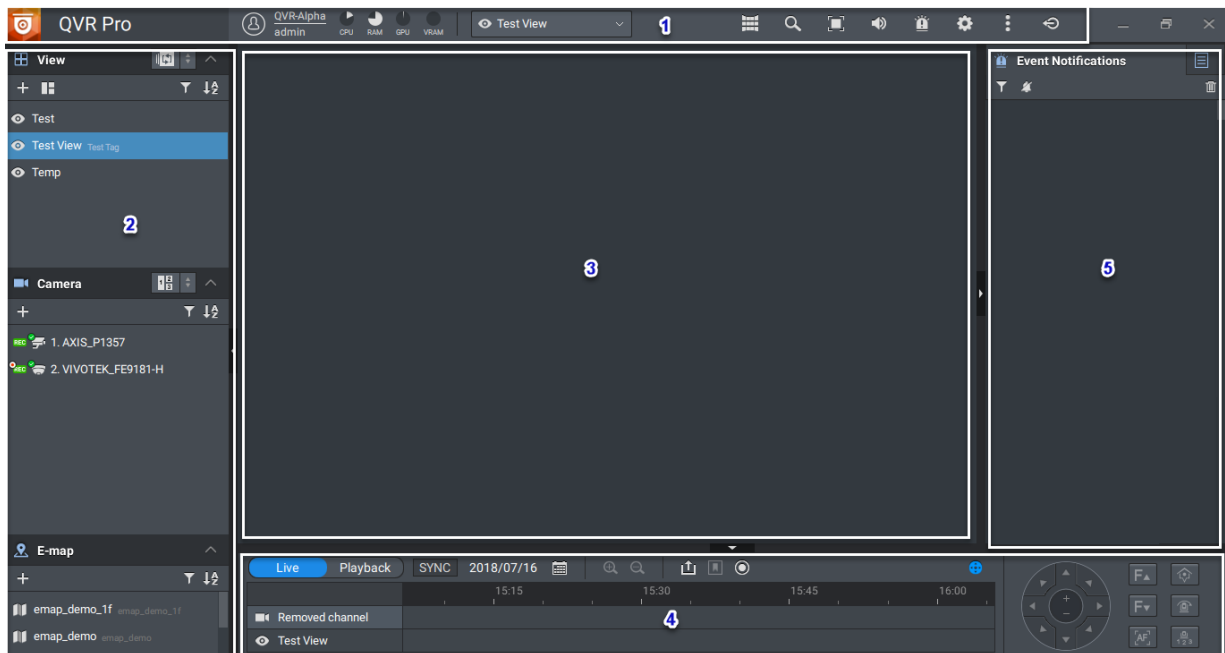


注

- **パスワードを保存** が選択されている場合は、QVR Pro Client は前回に成功したログイン資格情報を保存します。
ホストサーバーで  をクリックすると、保存されたログイン資格情報のリストを見ることができます。
- QVR Center を使用するにはセキュアログインが必要です。

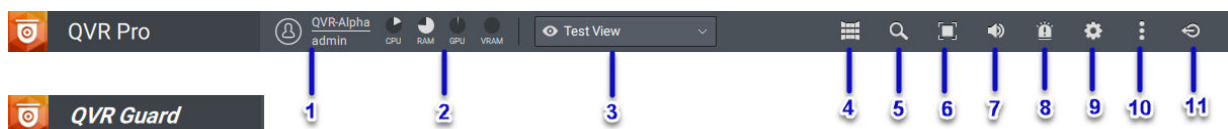
5. 「**ログイン**」をクリックします。

QVR Pro Client のナビゲーション




#	エレメント	説明
1	メインツールバー	詳細は、 メインツールバー をご覧ください。
2	スタックパネルを一覧表示	詳細は、 スタックパネルを一覧表示 をご覧ください。
3	フレキシブルグリッド	詳細は、 フレキシブルグリッド をご覧ください。
4	タイムナビゲーター	詳細は、 タイムナビゲーター をご覧ください。
5	イベント通知	詳細は、 イベント通知 をご覧ください。

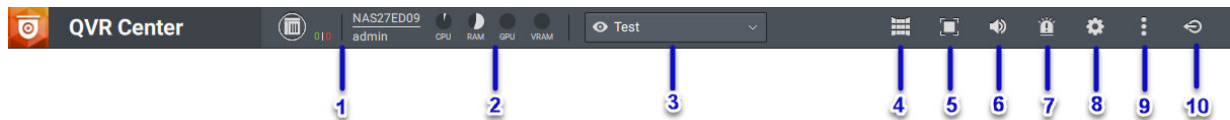
メインツールバー




QVR Pro または QVR Guard に接続している場合

番号	エレメント	可能なユーザーアクション
1	サーバー情報	<ul style="list-style-type: none"> サーバー名とユーザー名の情報を表示します。 マウスポインターをアイコンの上に置き、タイムゾーンとサーバーの IP アドレスを表示します。

番号	エレメント	可能なユーザーアクション
2	リソースモニター	<p>マウスポインターをアイコンの上に置き、QVR Pro がインストールされている NAS での CPU、RAM、GPU、および VRAM の使用率を表示します。</p> <p> 注 VRAM (ビデオ RAM) は、ご使用のデバイスが表示する画像データを格納するために使用されるメモリです。</p>
3	項目情報	<ul style="list-style-type: none"> ボタンをクリックして現在選択されている項目についての詳細情報を表示します。情報および利用できるオプションは選択した項目タイプによって変わります。 「リスト内の場所を見る」を選択し、ビュー、カメラ、E-map リスト内の項目をすばやく見つけます。
4	ビデオウォール管理	ボタンをクリックして、ビデオウォール管理ダッシュボードを開きます。ここでは、監視範囲の向上のために、カメラ、E-map、またはビューを複数のディスプレイに割り当てることができます。
5	検索	<p>ボタンをクリックして 検索 ウィンドウを開き、検索結果 パネルを表示します。</p> <p>QVR Pro Client は、QVR Pro Server Metadata Vault および QVR Pro Client ブックマークを検索します。</p>
6	全画面	ボタンをクリックして全画面モードに切り替えます。「ESC」を押して終了します。
7	オーディオ音量	ボタンをクリックしてから、スライダーをドラッグして音量を上下させます。
8	通知	ボタンをクリックして イベント通知 パネル内を表示または非表示にします。
9	設定	ボタンをクリックして 設定 メニューを開きます。
10	その他	<p>ボタンを押して以下のメニュー項目を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次の画面へ移動: QVR Pro Client は、ご使用のデバイスに接続されている別のモニターへ移動します • クイックチュートリアル: QVR Pro Client のクイックチュートリアルを開きます • ユーザーマニュアル: QVR Pro Client のユーザーガイドを開きます • ヘルプデスク: ヘルプデスクウィンドウが開きます • バージョン情報: 以下の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • クライアントバージョン • サーバーバージョン • QTS バージョン • GPU
11	ログアウト	ボタンをクリックして QVR Pro Client をログアウトします。

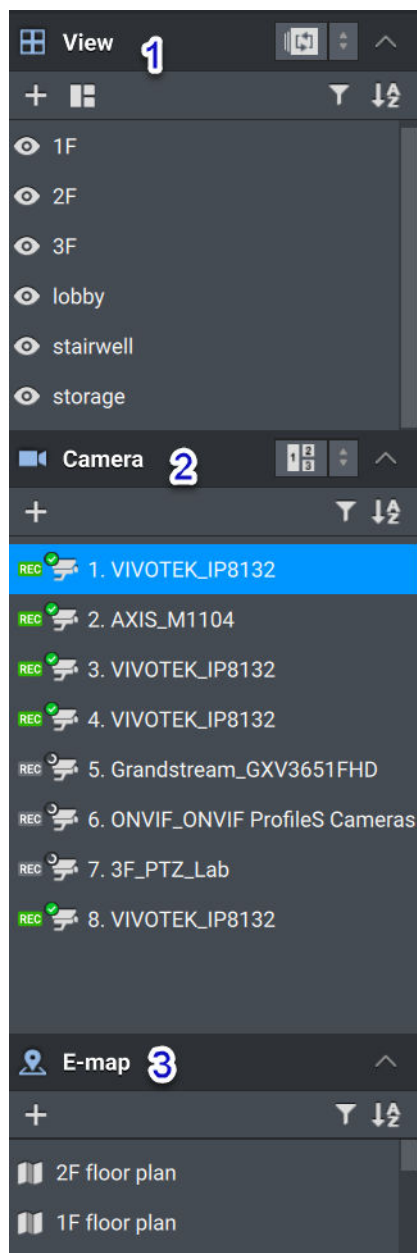


QVR Center に接続している場合

#	エレメント	可能なユーザーアクション
1	サーバー情報	<ul style="list-style-type: none"> サーバー名とユーザー名の情報を表示します。 マウスポインターをアイコンの上に置き、タイムゾーンとサーバーの IP アドレスを表示します。  をクリックして QVR Center ダッシュボードを開き、管理している QVR Pro サーバーの情報を表示します。
2	リソースモニター	マウスポインターをアイコンの上に置き、QVR Center がインストールされている NAS での CPU、RAM、GPU、および VRAM の使用率を表示します。
3	項目情報	<ul style="list-style-type: none"> ボタンをクリックして現在選択されている項目についての詳細情報を表示します。情報および利用できるオプションは選択した項目タイプによって変わります。 「リスト内の場所を見る」を選択し、ビュー、カメラ、E-map リスト内の項目をすばやく見つけます。
4	ビデオウォール管理	ボタンをクリックして、ビデオウォール管理ダッシュボードを開きます。ここでは、監視範囲の向上のために、カメラ、E-map、またはビューを複数のディスプレイに割り当てることができます。
5	全画面	ボタンをクリックして全画面モードに切り替えます。「ESC」を押して終了します。
6	オーディオ音量	ボタンをクリックしてから、スライダーをドラッグして音量を上下させます。
7	通知	ボタンをクリックして イベント通知 パネル内を表示または非表示にします。
8	設定	ボタンをクリックして 設定 メニューを開きます。

#	エレメント	可能なユーザーアクション
9	その他	<p>ボタンを押して以下のメニュー項目を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 次の画面へ移動:QVR Pro Client は、ご使用のデバイスに接続されている別のモニターへ移動します• クイックチュートリアル:QVR Pro Client のクイックチュートリアルを開きます• ユーザーマニュアル:QVR Pro Client のユーザーガイドを開きます• ヘルプデスク:ヘルプデスクウィンドウが開きます• バージョン情報:以下の情報が表示されます。<ul style="list-style-type: none">• クライアントバージョン• サーバーバージョン• QTS バージョン• GPU
10	ログアウト	ボタンをクリックして QVR Pro Client をログアウトします。

スタックパネルを一覧表示



#	エレメント	可能なユーザーアクション
1	表示	<ul style="list-style-type: none"> •  をクリックしてリストを拡張させます。 •  をクリックしてリストを折りたたみます。 •  をクリックしてシーケンシャルモードのビューを有効にします。 •  をクリックしてシーケンシャルモードのビューを無効にします。 •  をクリックして時間間隔を変更します。 •  をクリックして新しいビューを追加します。 •  をクリックしてテンプレートを選択します。 •  をクリックしてリストをフィルターするキーワードを入力してください。 •  をクリックして次のいずれかひとつを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 最後の修正 (最古) • 最後の修正 (最新) • 名前 (Z から A) • 名前 (A から Z) • タグの表示 <p> 注 これにより、QVR Pro Client はビュー画面のリストにタグを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ビューを右クリックして、次のオプションのいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • ビューをロック • ビューの名前変更 • ビューの削除 • マウスポインターをサイズ変更用矢印が現れるまでボックスの端に置き、端をドラッグします。 <p>詳細は、ビューの管理をご覧ください。</p>

#	エレメント	可能なユーザーアクション
2	カメラ	<ul style="list-style-type: none"> •  をクリックしてリストを拡張させます。 •  をクリックしてリストを折りたたみます。 •  をクリックしてカメラのシーケンシャルモードを有効にします。 •  をクリックしてカメラのシーケンシャルモードを無効にします。 •  をクリックして時間間隔を変更します。 •  をクリックしてカメラを追加します。 •  をクリックしてリストをフィルターするキーワードを入力してください。 • マウスポインターをカメラ名の上に置き、プレビューを表示させます。 •  をクリックして次のいずれかひとつを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • インデックス (A から Z) • インデックス (Z から A) • 名前 (Z から A) • 名前 (A から Z) • 削除したチャンネルを一番下に表示 • マウスポインターをサイズ変更用矢印が現れるまでボックスの端に置き、端をドラッグします。 • ドロップダウンリストをクリックしてして QVR Pro サーバーを選択します (QVR Center に接続されている場合にのみ使用可能)。 • カメラを右クリックして、次のオプションのいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • カメラホームページ: カメラの製造元が提供するカメラ設定ページを開きます • カメラ設定を編集: QVR Pro のカメラ設定ページを開きます • 魚眼ビューの作成: テンプレートを選択して、魚眼ビューを選択します (魚眼カメラにのみ使用可能) • カメラ録画: カメラでの録画を有効または無効にします <p>詳細は、カメラ管理をご覧ください。</p>

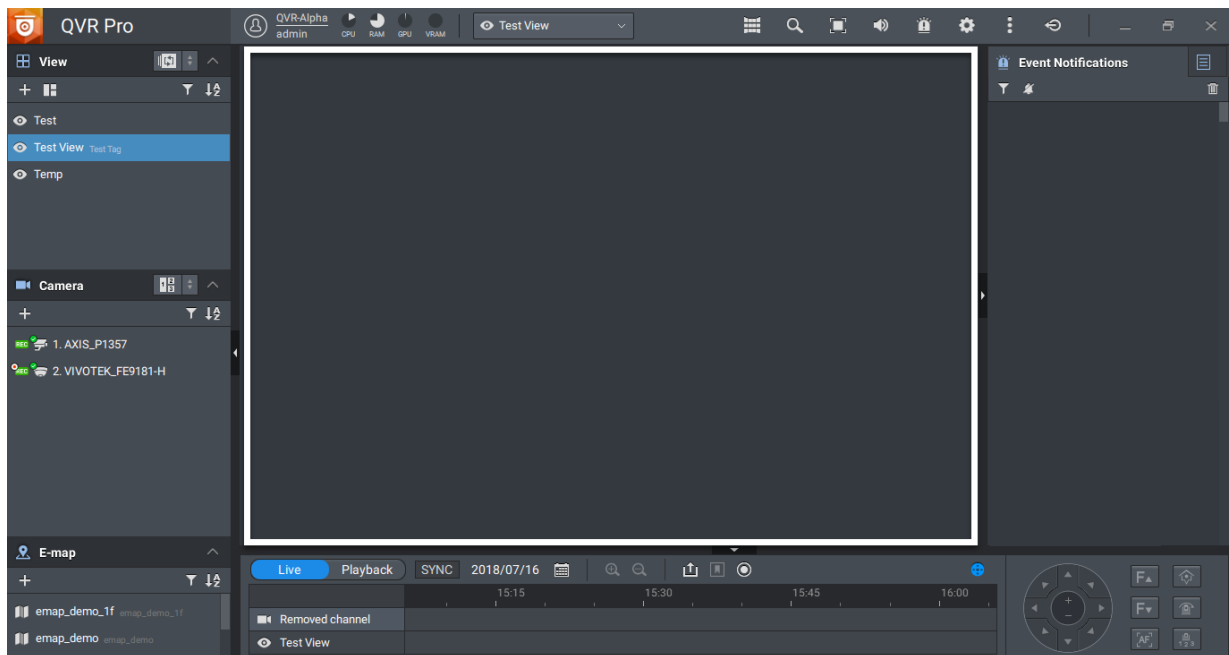
#	エレメント	可能なユーザーアクション
3	E-map	<ul style="list-style-type: none"> ▼ をクリックしてリストを拡張させます。 ▲ をクリックしてリストを折りたたみます。 ✚ をクリックして E-map を追加します。 カメラまたは E-map を E-map に追加します。 🔍 をクリックしてリストをフィルターするキーワードを入力してください。 ⬇️ をクリックして次のいずれかひとつを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> 最後の修正 (最古) 最後の修正 (最新) 名前 (Z から A) 名前 (A から Z) タグの表示 <p> 注 これにより、QVR Pro Client は E-map リストにタグを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> E-map の名前を変更します。 E-map を削除します。 マウスポインターをサイズ変更用矢印が現れるまでボックスの端に置き、端をドラッグします。 <p>詳細は、E-map 管理をご覧ください。</p>



ヒント

複数のビュー、カメラ、または E-map を選択して、選択したすべてのアイテムに特定のアクションを実行できます。複数のアイテムを選択するには、[SHIFT] または [CTRL] キーを押します。

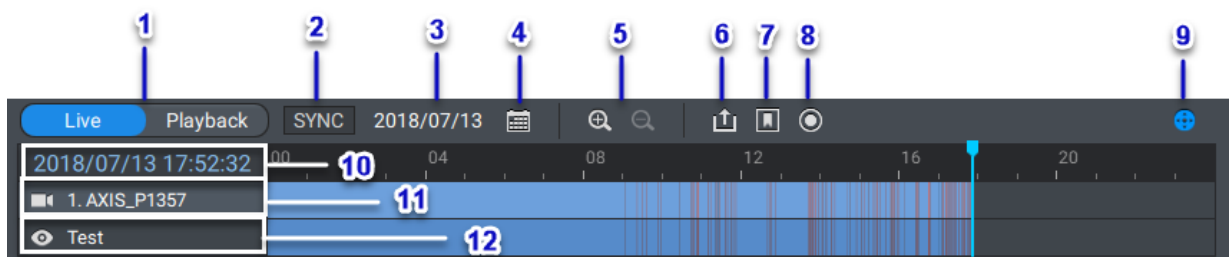
フレキシブルグリッド




フレキシブルグリッドは選択したビューやカメラ、E-mapを表示します。それぞれのビューでカメラとE-mapの自由な組み合わせができます。レイアウトは事前に用意されたテンプレートの中から好きなものを選んでカスタマイズすることもできます。

詳細は、[ビューの変更](#)をご覧ください。

タイムナビゲーター



#	エレメント	可能なユーザーアクション
1	ライブ/再生	このボタンをクリックし、ライブと再生の両モードを切り替えます。
2	同期	このボタンをクリックし、選択されたビューでのライブと録画ビデオすべての時刻を同期します。
3	日付	これはタイムラインで使われる現在の日を示し、ユーザーが指定可能です。

#	エレメント	可能なユーザーアクション
4	カレンダー	<p>このボタンをクリックし、再生モード時のタイムラインの日付を指定します。</p> <p> 注 14日を超える録画を再生するには、QVR Pro Gold ライセンスが必要です。</p>
5	タイムラインズームコントロール	<ul style="list-style-type: none"> ズームインするには、 をクリックします。 ズームアウトするには、 をクリックします。
6	録画ファイルのエクスポート	ボタンをクリックすると、 録画ファイルのエクスポート ウィンドウが開きます。
7	ブックマーク	<p>このボタンをクリックし、現在のタイムライン位置にブックマークを追加します。</p> <p> は各ブックマークのタイムラインに表示されます。</p>
8	カメラ録画	<p>このボタンをクリックして、次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定のカメラの録画を有効にする 特定のカメラの録画を無効にする すべてのカメラの録画を有効にする すべてのカメラの録画を無効にする
9	ライブパネルを表示/非表示	<ul style="list-style-type: none">  をクリックし、ライブ PTZ コントロールパネルを表示します。  をクリックし、ライブ PTZ コントロールパネルを表示します。  をクリックし、再生コントロールパネルを表示します。  をクリックし、再生コントロールパネルを表示します。
10	ライブ/再生時間	<ul style="list-style-type: none"> カメラがライブストリームを表示している間は、現在日時を確認できます。 ビデオ録画が再生されている時には、録画日時を確認できます。 <p> 注 ここに表示される日時は、サーバーで現在使用されているタイムゾーンに基づきます。</p>
11	選択されたビュー、カメラ、E-map	<ul style="list-style-type: none"> ビューが選択されている時は、アクティブなカメラの名前とタイムラインを確認できます。E-map がアクティブな場合、タイムラインには何も表示されません。 カメラが選択されている時は、タイムラインを確認できます。 E-map が選択されている時は、QVR Pro Client はタイムナビゲーターは非表示にあります。

#	エレメント	可能なユーザーアクション
12	選択されたビューあるいはカメラ	<ul style="list-style-type: none"> ビューが選択されている時は、アビューの名前とタイムラインを確認できます。 カメラが選択されている時は、カメラの名前とタイムラインを確認できます。

タイムナビゲーターの利用についての詳細は、[高度な機能](#) をご覧ください。

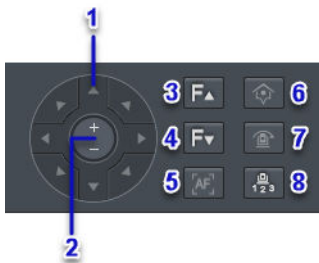
ライブ PTZ コントロール

QVR Pro Client は、パン - チルト - ズーム (PTZ) サポートをもつカメラに対してライブコントロールパネルを有効化します。



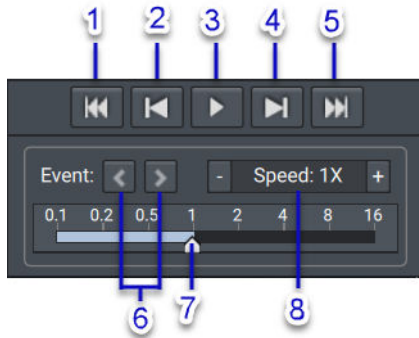
重要

カメラタイプによっては、利用できないコントロールもあります。



#	エレメント	可能なユーザーアクション
1	方向のコントロール	カメラを指定の方向に向けるにはこのボタンをクリックします。
2	ズームコントロール	<ul style="list-style-type: none"> ズームインするには、+ をクリックします。 ズームアウトするには、- をクリックします。
3	フォーカスイン	対象にフォーカスを絞るにはこのボタンをクリックします。
4	フォーカスアウト	対象からフォーカスはずす、あるいは焦点距離を伸ばすにはこのボタンをクリックします。
5	オートフォーカス	オートフォーカスを有効にするにはこのボタンをクリックします。
6	ホームポイント	ホームポイントに戻るにはこのボタンをクリックします。
7	オートクルージングを有効にする	オートクルージングを開始するにはこのボタンをクリックします。停止するには、このボタンをもう一度クリックします。オートクルージング機能を使うには、プリセットポイントリストを用いて少なくとも 2 つのプリセットポイントを指定する必要があります。
8	プリセットポイントリスト	ホームポイントとプリセットポイントリストを指定するにはこのボタンをクリックします。

再生コントロール



#	エレメント	可能なユーザーアクション
1	後ろの 5 分	動画の最後の 5 分間を再生するにはこのボタンをクリックしてください。
2	後ろの 1 フレーム	ボタンを押して最後のフレームを再生します。 💡 ヒント キーボードの左矢印キーを押すこともできます。
3	再生または一時停止	このボタンをクリックして動画の再生または一時停止をします。 💡 ヒント キーボードのスペースバーを押すこともできます。
4	前の 1 フレーム	ボタンを押して次のフレームを再生します。 💡 ヒント キーボードの右矢印キーを押すこともできます。
5	前の 5 分	このボタンをクリックして動画を 5 分間早送りします。
6	前または次のイベント	<ul style="list-style-type: none"> 前のイベントを見るには < をクリックします。 次のイベントを見るには > をクリックします。
7	再生速度	スライダーをドラッグして再生速度を指定します。
8	速度の増減	<ul style="list-style-type: none"> 再生速度を遅くするには - をクリックします。 再生速度を速くするには + をクリックします。

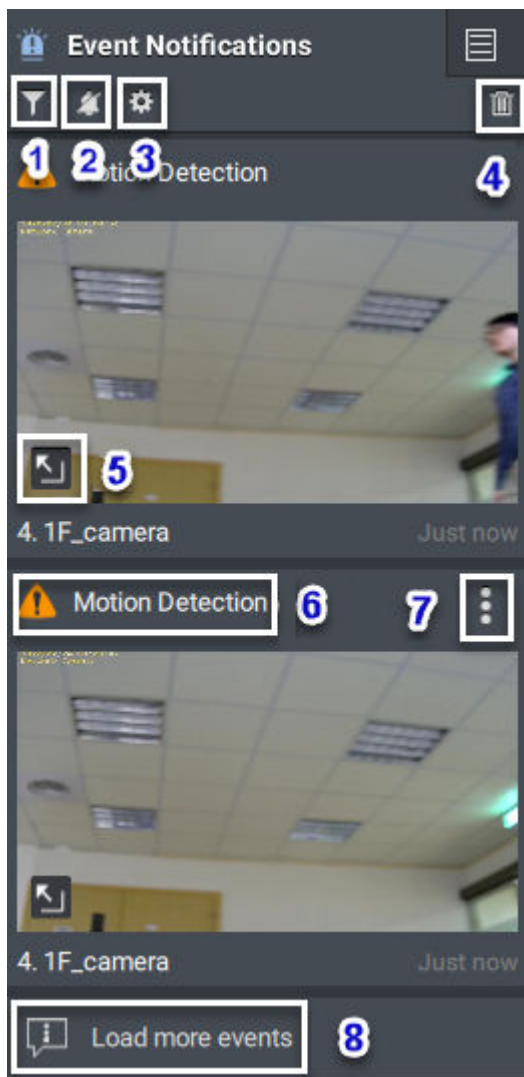
イベント通知



QVR Pro Client は、警告、エラー、情報の 3 つのレベルのイベントに対する通知をします。特定のイベント通知にはイベント記録からのスナップショットが含まれます。




注

イベントが検出された 5 秒間はビデオフレームの枠が赤く点滅します。




番号	エレメント	可能なユーザーアクション
1	フィルター	ボタンを押してリストをフィルターします。
2	警告音の有効化または無効化	<ul style="list-style-type: none"> 警告音を有効化するには、 をクリックします。 警告音を無効化するには、 をクリックします。 <p>警告音が有効化されている場合、QVR Pro Client はイベント発生時に音を出します。この警告音はオーディオ音量が 0 になっていても音が出ます。</p>
3	イベント設定	このボタンをクリックして、イベント設定を指定します。 詳細は、 イベント設定の指定 をご覧ください。
4	すべて消去	イベント通知 パネルの通知をすべて削除するには、このボタンをクリックします。

番号	エレメント	可能なユーザーアクション
5	イベント・プレイバック	<p>イベント記録を見るにはこのボタンをクリックするかスナップショットをフレキシブルグリッドにドラッグします。</p> <p> 注 この機能をサポートしているイベントタイプは限られます。</p>
6	イベント名	これにより、イベントの名前が表示されます。繰り返し発生するイベントには、 QVR Pro Client はタイトルに番号を付加して、このイベントが何回発生したかを示します。
7	その他	<p>次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント画像の保存: イベントのスナップショットを撮ります ・ ブックマーク: ブックマークを加えます ・ 録画ファイルのエクスポート: イベント録画をエクスポートします ・ イベント・プレイバック: イベント録画をフレキシブルグリッドで再生します
8	イベントの再検索	監視イベントをさらに表示するには、このボタンをクリックします。


イベント設定の指定

イベント設定を設定すると、通知や警告を受け取るイベントを指定できます。

1. **イベント通知** パネルで、 をクリックします。
「イベント設定」画面が表示されます。
2. イベントタイプを選択します。
すべてのイベントタイプまたは特定のイベントタイプのみを選択できます。
3. 選択したイベントのイベント通知を有効にするかどうかを選びます。




ヒント

ソースがカメラであるイベントには、 をクリックして、個々のカメラのイベント設定を指定できます。

4. 選択したイベントのサウンドタイプを指定します。

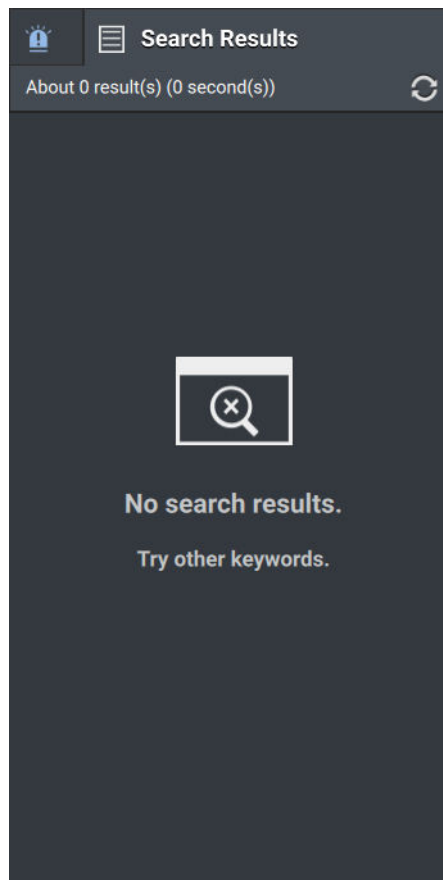


ヒント

マウスをオプションの上に移動して、 をクリックすると、サウンドを再生できます。また、サウンドのミュートを選ぶこともできます。

5. 「適用」をクリックします。



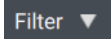
検索結果



QVR Pro Client は検索結果を **検索結果** パネルに表示します。

詳細は、[検索の実行](#)をご覧ください。


検索の実行

1. メインツールバーで  をクリックします。
検索ウィンドウが開きます。
2. キーワードを入力します。
3. 時間範囲を指定します。
 - a.  をクリックします。
 - b. 事前に定義されたオプションの指定ひとつ、あるいは**時間範囲の指定**を選択してから、開始と終了時刻を指定します。
4. 詳細フィルター条件を指定します。
 - a.  をクリックします。
QVR Pro Client がフィルターオプションを表示します。
 - b. 次の条件を指定します。

- 検索範囲
- データソースタイプ
- データソース

5. **検索**をクリックします。
QVR Pro Client が検索結果を表示します。

設定

タブ	可能なユーザーアクション
一般	<ul style="list-style-type: none"> • 必要に応じて、次の設定を有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> • 常にツールバーを表示: • チャンネル名にチャンネルインデックスを含める • ストリーム情報の表示:有効にすると、QVR Pro Client はビデオ圧縮形式、解像度、データ転送速度を表示します。カラーピッカーを使用して、テキストの色を変更できます。
アラート	<p>必要に応じて、次の設定を有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • イベントが入ったカメラを強調表示する:有効にすると、イベントが検出された場合にカメラセルの枠が 5 秒間赤く点滅します。 • イベントを音で通知する:有効にすると、QVR Pro Client が音声通知警報を再生します。
E-map	<ul style="list-style-type: none"> • アイコン名を常に表示するを選択して、アイコンサイズを選択します。有効にすると、QVR Pro Client は E-map 上に常にアイコン名を表示します。
スナップショット	<ul style="list-style-type: none"> •  をクリックして、スナップショットのデフォルト保存先を指定します。 • 毎回スナップショットの保存場所を確認するを選択します。 • 画像形式を選択します。 • タイムスタンプを含むを選択します • チャンネル名を含むを選択します

タブ	可能なユーザーアクション
詳細設定	<ul style="list-style-type: none"> • ストリーム解像度を選択します。 • ストリームビデオ形式を選択します。 • 必要に応じて、次の設定を有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> • ビデオ アンチエイリアシング:有効にすると、QVR Pro Client はアンチエイリアシングを使用して、よりクリアな画像を生成します。 この機能には追加の処理能力が必要であり、デバイスのパフォーマンスに影響を及ぼす場合があります。 • マルチスレッドデコードを有効にする:有効にすると、QVR Pro Client はより円滑なビデオストリーミングと再生のために、マルチスレッドデコーディングを使用します。 • 利用可能な場合はハードウェア加速を使用する:有効にすると、QVR Pro Client はハードウェアアクセラレーションを使用してパフォーマンスを向上します。 また、ハードウェアアクセラレートチャンネルの最大数を指定できます。
チュートリアル	<ul style="list-style-type: none"> • 起動時にクイックチュートリアルを表示を選択すると、QVR Pro Client が開いたときにクイックチュートリアルが表示されます。 • すべてのクイックヒントを表示の横のリセットをクリックすると、再び表示しない選択をした場合でも QVR Pro Client はすべてのクイックヒントを再び表示します。

**注**


現在のタブを終了する前に、**保存** をクリックして変更内容を保存する必要があります。これを行わないと、QVR Pro Client は変更内容を破棄します。


3. ビューの管理


QVR Pro Client によりビューの作成とカスタマイズが可能です。

ビューの追加

さまざまな目的のために複数のビューを追加できます。各ビューにはカメラストリームと E-map が含まれます。


1. ビュー パネルで、 をクリックします。
QVR Pro Client はリストに新しいビューを追加します。
2. 次のタスクのいずれかを行います。

タスク	手順
事前定義されたテンプレートの使用	<ol style="list-style-type: none"> a.  をクリックします。 b. リストからテンプレートを選択します。
手動によるビューへのオブジェクトの追加	<p>次のオブジェクトのいずれかをグリッドエリアにドラッグアンドドロップします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カメラ • E-map

3.  をクリックします。
4. 以下の情報を入力します。
 - ビュー名
 - タグ
5. 「OK」 をクリックします。

ビューの変更

1. リストの表示をダブルクリックします。
2. 必要に応じて次のタスクのいずれかを行います。

タスク	手順
オブジェクトの追加	カメラまたは E-map をグリッド内にドラッグアンドドロップします。
オブジェクトの削除	右上隅の  カメラあるいは E-map をクリックします。
オブジェクトの移動	カメラまたは E-map をグリッドの新しい位置にドラッグアンドドロップします。
オブジェクトのサイズ変更	マウスポインターをカメラまたは E-map のフレーム上に置き、端か角をドラッグしてサイズを変更します。

ビューの名前を変更	<p>a. 右クリックし、「ビューの名前を変更」を選択します。</p> <p>b. 新しい名前を入力します。</p> <p>c. 「OK」をクリックします。</p>
タグの変更	<p>a. 右クリックし、「ビューの名前を変更」を選択します。</p> <p>b. タグの追加または削除</p> <p>c. 「OK」をクリックします。</p>
ビューをロック	<p>a. 右クリックし、「ビューをロック」を選択します。 確認メッセージが表示されます。</p> <p>b. 「はい」をクリックします。</p>
ビューをアンロック	<p>a. 右クリックし、「ビューをアンロック」を選択します。 確認メッセージが表示されます。</p> <p>b. 「はい」をクリックします。</p>



ヒント

[SHIFT] または [CTRL] を押すと、複数のビューまたは E-map を選択できます。

3. ビュー名の横にある  をクリックします。
QVR Pro Client はすべての変更をサーバーに保存します。



ヒント



同じサーバーにログオンすると、QVR Pro Client を異なるデバイスにインストールし、保存したビューにアクセスできます。

ビューの削除


1. リストの表示をダブルクリックします。
QVR Pro が選択されたビューを開きます。
2. 右クリックし、「**ビュー画面の削除**」を選択します。
確認メッセージが表示されます。
3. 「**OK**」をクリックします。
QVR Pro Client が選択されたビューを削除します。

ビューの連続モードを有効にする

連続モードを有効にすると、QVR Pro Client は選択したビューを指定されたテンプレートと時間間隔に従って連続モードで表示します。

1.  をクリックします。
シーケンシャルモードリストウィンドウが開きます。
2. 「**ビュー画面の一覧**」の下で含めたいビューを選択し、 をクリックします。

QVR Pro Client は選択したビューを**シーケンシャルモードリスト**に追加します。

3. **シーケンシャルモードを開始**を選択します。
4. 「**保存**」をクリックします。
QVR Pro Client は連続モードを開始し、選択したビューを表示します。
5. 任意:  をクリックし、時間間隔を指定します。
QVR Pro Client が変更を保存します。

4. カメラ管理

QVR Pro Client では、QVR Pro サーバーに接続されているカメラにアクセスできるようになります。

カメラを追加

QVR Pro Client では、監視を容易にするために QVR Pro サーバーに接続されるカメラを追加することができます。



1. **カメラ** パネルで、 をクリックします。
QVR Pro Client が QVR Pro **カメラ選択** ウィンドウを開きます。
2. リストの中からカメラを選択し、「**次へ**」 をクリックします。
追加するカメラの編集画面が表示されます。
3. 任意: ユーザー名とパスワードを入力します。
4. 「**次へ**」 をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
5. 次のオプションを選択し、「**OK**」 をクリックします。

オプション	説明
すぐに設定を行う	このオプションでは、カメラの設定を変更できます。
後ほど設定を行う	このオプションは、デフォルトのカメラ設定を使用します。



6. 前のステップでの選択に応じて、次の複数ステップのいずれかひとつを実施してください。
 - ・ カメラ設定を変更します。
 - ・ 次の手順に進みます。
7. 「**完了**」 をクリックします。
新しいカメラが一覧に追加されます。



カメラの連続モードを有効にする

連続モードを有効にすると、QVR Pro Client はすべてのカメラを指定されたテンプレートと時間間隔に従って連続モードで表示します。

1.  をクリックし、テンプレートを選択してください。
QVR Pro Client は連続モードを有効にし、カメラストリームを表示します。
2. 任意:  をクリックし、一覧から時間間隔を選択してください。
QVR Pro Client は指定された時間間隔を使用します。

録画ステータス






アイコン	ステータス	説明
	録画が停止しました	カメラは接続されていますが、動画撮影用に設定されていません。
	録画中	カメラは動画を撮影中です。

アイコン	ステータス	説明
	録画エラー	カメラは録画に設定されていますが、動画は保存されません。
	録画できません	このカメラは取り外されています。
なし	動画は有効になっていません	カメラは動画撮影用に設定されていません。

接続ステータス

アイコン	ステータス	説明
	切断済み	カメラは、QVR Pro サーバーに接続されていません。
	接続中	QVR Pro はカメラに接続しようとしています。
	接続済み	カメラが QVR Pro サーバーに接続されています。
	接続（録画なし）	このカメラは、QVR Pro に接続されていますが使用されていません。

カメラタイプ



アイコン	タイプ
	一般のカメラ
	PTZ カメラ
	魚眼レンズカメラ
	360 度カメラ
	このカメラは削除されていますが、録画は残っています。

5. E-map 管理

QVR Pro Client E-map によってカメラ位置を確認し、各エリアのフロアプランを見ることができます。

E-map を追加

カメラの位置がわかるよう、地図やフロアプラン、その他の画像をアップロードできます。

1.  をクリックします。
E-map を追加 ウィンドウが開きます。
2.  をクリックします。
ファイルエクスプローラーが開きます。
3. ファイルを見つけてから、「開く」をクリックします。
QVR Pro Client は SVG、JPG、PNG フォーマットの画像ファイルをサポートします。
4. 任意: キーワードをひとつまたは複数指定します。
複数の場合はセミコロンで区切ります。
5. 「OK」をクリックします。
E-map がそのリストに追加され、サーバーに保存されます。

E-map を変更

1. リストの E-map をダブルクリックします。
QVR Pro Client が選択された E-map を開きます。
2. 必要に応じて次のタスクのいずれかを行います。

タスク	手順
オブジェクトの追加	次のタスクを行います。 <ul style="list-style-type: none"> • カメラをドラッグアンドドロップします。 • E-map をドラッグアンドドロップします。
オブジェクトの移動	カメラまたは E-map をクリックし、新しい位置にドラッグします。
E-map 名の変更	<ol style="list-style-type: none"> a. リスト中の E-map を右クリックしてから、「E-map 名の変更」を選択します。 E-map 名の変更 ウィンドウが開きます。 b. 新しい名前を入力します。 c. 「OK」をクリックします。
タグの変更	<ol style="list-style-type: none"> a. リスト中の E-map を右クリックしてから、「E-map 名の変更」を選択します。 E-map 名の変更 ウィンドウが開きます。 b. タグの追加または削除 c. 「OK」をクリックします。

3. E-map 名の横にある  をクリックします。
QVR Pro Client がすべての変更を保存します。


E-map の削除


1. リストの E-map をダブルクリックします。
QVR Pro Client が選択された E-map を開きます。
2. 右クリックし、「**E-map の削除**」を選択します。
確認メッセージが表示されます。
3. 「**OK**」をクリックします。
QVR Pro Client が選択された E-map を削除します。


6. 高度な機能

QVR Pro Client は録画のエクスポート、スナップショットの取得、およびその他の高度な動作を実行できます。

録画のエクスポート



1. ビューあるいはカメラを選択します。
QVR Pro Client が選択されたビューあるいはカメラを開きます。
2. タイムナビゲーターで、 をクリックします。
録画ファイルのエクスポート ウィンドウが開きます。
3. 以下の情報を入力します。

オプション	説明
録画タイプ	次のオプションのいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • すべての録画 • 通常録画 • イベント録画
開始時刻	日付と時刻を指定します。
エクスポート期間	次のやり方のいずれかを行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 事前に定義されたオプションのひとつを選択します。 • 「終了時間を指定」を選択してから、日付と時刻を指定します。 • タイムライン上に時間バーをドラッグします。
保存先	 をクリックしてから、フォルダ場所を指定します。
ファイル名	自動生成されたファイル名を使うかまたは自分で指定します。

4. 詳細設定を行います。
 - a. 「詳細設定」を選択します。
 - b. 形式を指定します。
 - c. 任意: 次のオプションを 1 つまたは複数選択します。
 - 音声は省く
 - タイムスタンプを含む
 - カメラ名を含む
 - デジタルウォーターマークを含む
 - d. 任意: タイムラインのズームイン、ズームアウトするには  をクリックします。
5. 「開始」をクリックします。
QVR Pro Client は選択された録画をエクスポートし、指定の保存場所に MP4 ファイルで保存します。


関心領域 (ROI) の設定

QVR Pro Client は、関心領域を作ることで特定分野に焦点を当てることができます。各カメラに対し最大 9 の分野を選択できます。

1. ビューあるいはカメラを選択します。
QVR Pro Client が選択されたビューあるいはカメラを開きます。
2. 次のタスクのいずれかを行います。
 - カメラを選択するには、動画フレーム内をクリックします。
 - マウスポインターをタスクバーが現れるまでカメラ上に置きます。
3.  をクリックします。
QVR Pro Client は、選択されたカメラに関心領域を追加し、新しいフレームを作ります。
カメラを「カメラ」パネルから選択した場合、QVR Pro Client は自動的に新しいビューを作成します。
4. 任意: 関心領域の場所を変えるにはクリックして、ドライブします。
QVR Pro Client は、ライブストリームの注目分野を自動的に更新します。
5. ビュー名の横にある  をクリックします。
QVR Pro Client がすべての変更を保存します。

スナップショットの取得


QVR Pro Client は、動画のスナップショットをとり、その画像を JPEG ファイルとして保存できます。

1. ビューあるいはカメラを選択します。
QVR Pro Client が選択されたビューあるいはカメラを開きます。
2. 次のタスクのいずれかを行います。
 - カメラを選択するには、動画フレーム内をクリックします。
 - マウスポインターをタスクバーが現れるまでカメラ上に置きます。
3.  をクリックします。
スナップショット保存パスの選択ウィンドウが開きます。
4. 保存場所とファイル名を指定します。
5. 「保存」をクリックします。
QVR Pro Client がスナップショットを保存します。




魚眼レンズカメラのデワーピング

デワーピング技術により、QVR Pro Client は魚眼レンズカメラによって作られた画像の歪みを是正できます。


1. 魚眼レンズカメラまたは魚眼レンズカメラを含むビューを選択します。
QVR Pro Client が選択されたビューあるいはカメラを開きます。
2. 次のタスクのいずれかを行います。
 - 魚眼レンズカメラを選択するには、動画フレーム内をクリックします。
 - マウスポインターをタスクバーが現れるまでカメラ上に置きます。

3.  をクリックします。

4. 次のタスクのいずれかを行います。


タスク	手順
領域デワーピング	<p>a. 「領域デワープの作成」を選択します。デワーピングセクターと新しい動画フレームが現れます。</p> <p>b. デワーピングセクターの場所を変えるにはクリックして、ドラッグします。</p> <p>新しいカメラセルが表示され、歪み補正された画像が示されます。</p> <p> ヒント クルージング速度を選択するには、新しいカメラセルで  をクリックします。デワーピングセクターは指定の速度で移動します。</p>
パノラミックデワーピング	<p>次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • パノラマモード • デュアルパノラマモード <p>新しいカメラセルが表示され、歪み補正された画像が示されます。</p>
クワッドデワーピング	<p>a. 「クワッドデワープの作成」を選択します。新しいカメラセルに 4 つの画像が表示されます。</p> <p>b. このカメラ画像のひとつを選択します。</p> <p>c. PTZ コントロールパネルあるいはマウスのスクロールホイールで画像を調整します。</p> <p>新しいカメラセルが表示され、歪み補正された画像が示されます。</p> <p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> • + をクリックするかまたは前にスクロールしてズームインします。 • - をクリックするかまたは白にスクロールしてズームアウトします。
デワーピングテンプレート	<p>素早く歪み補正されたビューを作成するには、以下のテンプレートのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2 歪み補正済み領域 • 3 歪み補正済み領域 • 4 歪み補正済み領域 • 1 パノラマと 2 歪み補正済み領域

新しいカメラセルが表示され、歪み補正された画像が表示されます。

5. ビュー名の横にある  をクリックします。
QVR Pro Client はすべての変更を保存します。

360 度カメラの使用

360 度カメラを使用することで、より広い監視範囲となる高視野角のビューが得られます。360 度カメラ画像をモニタリングする時は表示モードを選択できます。

1. 360 度カメラまたは 360 度カメラを含むビューを選択します。
QVR Pro Client が選択されたビューあるいはカメラを開きます。
2. 次のタスクのいずれかを行います。
 - 360 度カメラを選択するには、動画フレーム内をクリックします。
 - マウスポインターをタスクバーが現れるまでカメラ上に置きます。
3.  をクリックします。
4. 次のオプションのいずれかを選択します。
 - デュアルフィッシュアイ
 - 正距円筒図法 (エクイレクタングラー)
 - 球面透視図
 - リトル プラネット (ステレオ投影)



注

- QVR Pro Client は (オリジナル) を **デュアルフィッシュアイ** または **正距円筒図法** に追加して、360 度カメラの元の画像タイプを示します。
- **デュアルフィッシュアイ** オプションは 360 度カメラの元の画像が正距円筒図法の場合は使用できません。


カメラ画像は選択したモードに応じて調整されます。

5. 任意: マウスをクリック、ドラッグして画像を回転させます。




注

この機能は、**球面透視図** または **リトル プラネット (ステレオ投影)** を選択した場合にのみ利用できます。

6. ビュー名の横にある  をクリックします。
QVR Pro Client はすべての変更を保存します。

ビデオウォールの設定

QVR Pro Client は、監視範囲を向上するため、最大 8 ディスプレイでのカメラ、E-map、およびビューの表示をサポートしています。この機能を使用するには、ご使用のデバイスに追加のモニターを接続する必要があります。

1. ツールバーで  をクリックします。
QVR Pro Client が **ビデオウォール管理ダッシュボード** を開き、ご使用のデバイスに接続されたモニターを表示します。
2. 接続されているモニターを確認するには、**識別** をクリックします。
QVR Pro Client により、接続されているすべてのモニターに番号が表示されます。
例えば、ご使用のデバイスに 2 つの追加モニターが接続されている場合には、QVR Pro Client は主ディスプレイに 1 を表示し、2 番目と 3 番目のディスプレイにそれぞれ 2 と 3 を表示します。
3. カメラ、E-map、またはビューを未使用のディスプレイにドラッグアンドドロップします。
QVR Pro Client がフルスクリーンモードで対応するモニター上に開き、選択したカメラ、E-map、またはビューを表示します。
4. 他のカメラ、E-map、またはビューを他の未使用ディスプレイにドラッグアンドドロップします。

他のディスプレイを設定したら、カメラ、E-map、またはビューを主ディスプレイ上に開いて、監視セッションを続行できます。

7. ヘルプデスク

QVR Pro Client にはヘルプデスクを用いた素早いチケット提出を行う機能があります。

ヘルプデスクチケットの提出


ヘルプデスクチケットを提出すると、QNAP からサポートを受けられます。




注

QVR Pro Client が予期せず機能を停止して、終了した場合は、ヘルプデスクが自動的に表示されます。これにより、問題の報告と対処が効率的に行えます。

1.

メインツールバーで、 をクリックしてから、**ヘルプデスク** を選択します。
ヘルプデスク ウィンドウが開きます。

2. 以下の情報を入力します。

フィールド	タスク
名称	お名前を入力します。
電子メール	有効な電子メールアドレスを入力してください。
カテゴリ	必要に応じて次のカテゴリを 1 つまたは複数選択してください。
メッセージ	それぞれの問題に短い説明を入力します。
添付ファイル	問題を説明するためのスクリーンショットや関連するファイルをアップロードしてください。  ヒント システムログを含み最大で 8 つの添付ファイルをアップロードできます。ファイルサイズは 5 MB 未満に制限されます。 デバッグログ情報のコピーをダウンロードするには、 [PC ログの取得] をクリックし、保存場所を指定します。



注

ログのダウンロードは、QVR Pro と QVR Pro Client が同じネットワーク上にある場合に可能です。ただし、QNAP にチケットを提出するにはインターネット接続が必要です。

3. 「送信」をクリックします。

QVR Pro Client はそのチケットをヘルプデスクポータルに送ります。



ヒント

チケットのステータスをチェックするには、<https://helpdesk.qnap.com/> に進みます。